

2023年12月11日

各位

会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社
(コード番号 4765)

(上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)

代表者 代表取締役社長 朝倉 智也

開示責任者 執行役員 CFO 小笠原 靖行

『SBI日本高配当株式(分配)ファンド(年4回決算型)』
ネット証券のみ取扱いの追加型公募株式投信における国内株式を投資対象とするファンドで
過去3年間で最大の当初募集額61億円を達成

当社子会社のSBIアセットマネジメント株式会社(以下「SBIアセットマネジメント」)が2023年12月12日に設定、運用を開始する「SBI日本高配当株式(分配)ファンド(年4回決算型)」(愛称:SBI日本シリーズ-日本高配当株式(分配))(以下「本ファンド」)が当初募集期間中(2023年12月4日~12月11日)に61億円を超えるお申込みをいただきましたのでお知らせいたします。

本ファンドは現在、株式会社SBI証券(以下「SBI証券」)のみで取り扱っており、ネット証券のみを販売会社とする国内株式を主要投資対象とした追加型公募株式投資信託では、過去3年間で最大の募集額^{*1}で設定、運用を開始することになります。

SBIアセットマネジメントが設定・運用する投資信託では、2023年9月22日の設定の「SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・ファンド」(愛称:サクッとインド株式)が、2週間の当初募集期間で50.7億円のお申込みをいただきましたが、本ファンドはわずか6営業日の募集期間でその金額を上回るお申込みをいただきました。

本ファンドが、投資家の皆さまから厚いご支援をいただけた背景には、①日本の株式を主要投資対象とし、配当利回りに着目して高水準のインカムゲインと中長期の値上がり益の獲得によるトータル・リターンの追求を目指した運用を行い、年4回の決算時に分配金を支払うことを目指すこと^{*2}、②信託報酬が年率0.099%(税込)と、日本株式に投資するファンドで最低だった「SBI・iシェアーズ TOPIX インデックス・ファンド」および「SBI・iシェアーズ日経225インデックス・ファンド」を更に下回る水準に設定され、国内株式に投資する追加型ファンドとして最も低い信託報酬^{*3}となっていること、③アクティブ・ファンドとしては、本邦初となる当初設定時の運用ポートフォリオ案の開示を行う^{*4}など、投資家の皆さまの目線に立った開示を進めていること、などが挙げられます。

今後も「顧客中心主義」のもと、良質かつ低コストの運用商品を提供することで、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

尚、通常の積立投資につきましては12月12日(火)8時30分よりSBI証券にて設定可能^{*5}です。

また、本ファンドは2024年からはじまる新NISAの成長投資枠には来年初より登録予定であり、新NISAでの積立設定につきましては当局より公表された翌日(12月20日予定)より販売会社であるSBI証券にて予約ができる予定^{*6}でございます。

以上

※1:2023年12月11日現在、投資信託協会公表情報からSBIアセットマネジメント調べ

※2:毎決算時の分配金のお支払いを保証するものではありません。※3:公募投信(ETF、ラップ専用を除く)として、ウェルズアドバイザー株式会社サイト(2023年12月11日掲載)より。※4:ウェルズアドバイザー株式会社調べ

※5:12月12日は新NISAでの積立設定開始日ではございませんのでご注意ください。

※6:新NISAによる非課税保有には条件があります。また新NISAによる取扱い、日程は予告なしに内容が変更、又は廃止される場合がございますので予めご了承ください。また、情報の内容については最善を期しておりますが、その内容を保証するものではなく、これらの情報によって生じたいかなる損害についても当社は一切の責任を負いません。

****【本件に関するお問い合わせ先】****

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話:03(6229)0812 メールアドレス:sbigam@sbiglobalam.co.jp

SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170